

たかが消しゴム、されど消しゴム

加佐登小学校スクールカウンセラー 伴野直美

3月になりました。今の学年も今月で終わりです。6年生はご卒業ですね。おめでとうございます。どんな1年でしたか？ この1年の自分の成長をゆっくりと思い返してみてくださいね。

さて、太郎君のクラスでは、昨日メッセージカードを交換しました。初めての交換でした。交換したペアの相手の花子さんは、文を書くのがちょっと苦手そうです。

「消しゴムを拾ってくれて、ありがとう。」

太郎君は、ちょっとテレながら受け取りました。太郎君は、どんな気持ちになったのでしょうか。…あなただったら、どんなふうに思いますか？

・消しゴム拾ったことだけ？ちょっと、さみしいなあ。

・消しゴムを拾っただけなのに、書いてくれたん？！ そんなちょっとしたことで喜んでくれたんだあ。

・「消しゴムがない！」って、あせってた感じだったんだよね。喜んでくれたんなら、面倒くさがらずに手伝ってあげてよかったよ。



文を作るのが苦手な花子さんは、心の中ではどんなことを感じ・考えていたんでしょう。

・消しゴムって、落としても音がしないの。落としたのがわからなくて、「どうしよう！家に忘れちゃったのかな」と、とっても焦っていたんだ。見つけてくれて、本当に助かったの。

・おばあちゃんが買ってくれたお気に入りの消しゴムなの。だから、一緒に探してくれたのが、とってもうれしかったの！ なくなったら、悲しいもん。

・「消しゴム落ちてるよ」って、言うだけでなく、自分から拾ってくれたんだよね。誰にでも優しいのよね、太郎君って。こんな友だちがとなりについてくれて、うれしいなあ。

・“消しゴム落として、困ってない？”って感じで、「落ちてたよ。」って言ってさらっと、渡してくれたのよね。私だけじゃなくて、みんなのこと心配してくれる感じで、頼りになるのよね、太郎君って。

消しゴム一つのことですが、いろいろと考えてしまいました。

でも、毎日の生活の中のちょっと良かったことって、このようなほんの小さなことではないでしょうか。それが1年積みあがると、3月のクラスのような仲の良さになって安心していられる場になっているのではないのかな、と思うのです。もちろん、「花子ちゃんのお気に入りはこの消しゴム？僕のお気に入り、これなんだあ。」などと話が膨らんで友だちになっていった人もいたかもしれません。

みんなのためにちょっとしたことを自分からしてみよう、友だちのやさしさを見つけてみよう。そんな気持ちが自分の中に感じられたら、育っていたら、今年のあなたの成長は花まる❀！ もちろん、お家の人のために、であってステキです。

そんなちょっとした自分の成長を見つけて・感じて、春休みを迎えてくれることを願っています。